

平成21年度 こどもみらい部の取組方針

こどもみらい部長 岡部 富夫は、「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」を目指し、本年度実現すべき緊急かつ重要なこどもみらい部の取組事項について実現に向けた取組方針を提示します。

平成21年6月4日

こどもみらい部長 岡部 富夫

1 職員の意識改革

①(意思疎通・共通認識の徹底)
(内容) 各業務の進捗状況を確認しつつ、意思疎通を図り、共通認識に基づいた業務への取組を実現するため、また事務改善等の提案・議論を行う場として、月 1 回以上の課内会議を行います。
②(職員の仕事と生活の調和の実現)
(内容) 職員の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現を図るため、計画的・効率的な業務管理をすることにより、毎週水曜日のノー残業デーの実施を徹底します。

2 業務点検(コンプライアンスの確保を含む)

①(法令、手続きの遵守のための業務手続のマニュアル化と職場研修の実施)
(内容) 日常業務の迅速化、適正化を確保するため、既存の業務マニュアルの見直しを行うとともに、必要な業務についてマニュアル化を行います。また、法令改正、制度改正に対応できるよう職場研修を実施します。

3 市民からの信頼回復

①(市民の立場に立った応接・対応の標準化)
(内容) 電話や窓口等で直接市民と接する際の対応について、職員同士で常に点検をするとともに、重要と思われる問い合わせや意見への対応について、その内容を職場で共有できるようにデータ化します。

4 子どもが元気に育つまち

①(次世代育成きらきらプランの推進)
(内容) 「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」の実現を目指し、次世代育成きらきらプラン前期計画の特定14事業のうち、目標事業量の未達成事業について、その理由を分析するとともに、必要に応じ未達成事業の代替事業を考案し、後期計画へ反映させます。

5 高齢社会への対応方針

①(高齢者と子どもの交流機会の提供)

(内容) 高齢者も子どもたちも生き生きと、ともに生きる関係づくりを進めるため、高齢者と子どもや若者たちが一緒に学んだり、活動したりする機会について検討を行い提供します。

6 重要な取組事項

①(「次世代育成きらきらプラン後期計画」の策定)

(内容) 平成22年度から26年度までの「次世代育成きらきらプラン後期計画」について、ニーズ調査の結果を基に後期計画を策定します。

②(公立保育園民営化の推進)

(内容) 2園目となる寺分保育園の民営化については、平成23年4月の民営化実施に向けて準備を進めます。保護者と協議しながら移管先となる社会福祉法人の募集条件等を確定し、募集、選考及び決定を行います。

③(保育所入所の待機児童の削減)

(内容) 平成21年4月1日現在の待機児童数は44名で、今後も増加することが予測されます。認定保育施設の認可化や認定こども園の活用などにより入所定員数の増加を図り、待機児童の削減に努めます。

④(こどもと家庭の相談事業の充実)

(内容) 要保護児童に係る相談への迅速な対応及び安全の確認・確保を図り、関係機関とのさらなる連携を強化して児童虐待の未然防止・早期発見に努めます。

⑤(青少年健全育成プランの策定)

(内容) 青少年の健全な育成を図るため、(仮称)鎌倉市青少年健全育成プランの策定を進めます。平成21年度は策定委員会を設置し、プランの内容や概要について討議を進めます。

⑥(発達に関する継続的な相談支援の実施)

(内容) 発達に関する継続的な相談支援を、対象者のライフステージに応じて、保健、福祉、教育等の関係機関が連携する鎌倉市発達支援システムネットワークなどを活用して行います。